

京都府の農林水産業の概要

特徴・取組

京都府は、北から南に長く、北部は日本海に面し、中部に山地、南部は平野が広がっている。また、中央に横たわっている山の影響により、南部は穏やかな気候であるが、日本海に面した北部は、秋から冬にかけて雨や雪がよく降り、厳しい気候になっている。

京都府は、伝統工芸品に関する製造業が主産業となっており、これらの基盤技術の蓄積が先端技術を生む土壌となっている。

また、第3次産業は、観光客の増加によりサービス業が増進している。

農地の約8割を水田が占め稲作が中心となっているが、ブランド京野菜の生産に力を入れるなど、収益性の高い農業を展開している。

森林は、府内総面積の約7割を占め、京都市北部から南丹地域にかけての林業地帯を中心に、磨丸太（みがきまるた）、丹波まつたけ、ほんしめじ等、商品価値の高い林産物が生産されている。

京都府の海では、暖水性のぶり、まぐろ、さわら等のほか、近年は、とり貝、あわび、いわがき等の養殖にも取り組んでいる。

宇治茶は、800年の歴史があり、てん茶（抹茶の原料）、煎茶、玉露などの様々なお茶が高評価を受けている。また、京都府では宇治茶の文化的景観のユネスコ世界文化遺産の登録に向けた取組とともに、「お茶の京都」として、宇治茶をテーマにお茶生産の美しい景観維持やお茶産業の振興、お茶文化の発信に取り組んでいる。

京都府では、優れた京都の農林水産物の中でも、安心・安全と環境に配慮した生産方法に取り組み、品質を厳選したものを「京のブランド産品」として認証している。「京のブランド産品」には京野菜の代表選手である京みず菜やさわやかな甘みが持ち味の京たんご梨、肉厚で独特な甘みのある丹後とり貝など合計32品目が認証されている。

主な農林水産物

ねぎ

葉ねぎ（青葱）の代表である九条ねぎは、京都市、山城地域などで生産している。葉は柔らかく、葉の内部のぬめりが特徴。



みずな

江戸時代以前から京都を中心に栽培してきたとされる京野菜の代表格。

（収穫量全国3位）



なす

賀茂なす、京山科なす、千両なすなど、古くからある品種を生産している。（収穫量全国11位）



とうがらし

万願寺とうがらし、伏見とうがらし、田中とうがらしなど、独自の品種を生産し、京の食文化を支えている。（とうがらし（辛味種）1位）



なし

丹後地域で生産されている「京たんご梨」は、一定以上の糖度や大きさのものだけが京のブランド産品として認証されている。



黒大豆・小豆

丹波黒大豆、丹波大納言小豆など中山間地域を中心に生産している。丹波黒大豆から生まれた枝豆も有名。（小豆：収穫量全国2位）



くり

南丹及び中丹地域で生産している。この地域のくりは、丹波くりとして平安時代からの歴史を持つ。



たけのこ

京たけのこは京都西山一帯で多く栽培している。

（生産量全国3位）



茶

京都で抹茶、煎茶、玉露という日本独自の栽培法と製法を開発。

（荒茶生産量全国5位）



とり貝

舞鶴湾、宮津湾、久美浜湾で養殖している。全国に先駆けて稚貝を生産・育成する技術を開発。



京都府内の各地域における農林水産物

丹後地域

【農畜産物】水稲、小豆、黒大豆、みずな、かんしょ、トマト、メロン、ねぎ、ごぼう、日本なし、茶、和牛子牛、蜂蜜

【林産物】木材、木炭

【水産物】さわら、かたくちいわし、まあじ、ぶり、ずわいがに、あまだい、かき(養殖)、とり貝(養殖)、くろまぐろ

中丹地域

【農畜産物】水稲、小豆、黒大豆、えだまめ、万願寺とうがらし、みずな、きゅうり、茶、くり、鶏卵、鶏肉

【林産物】木材、まつたけ

【水産物】さわら、かたくちいわし、まあじ、ぶり、ずわいがに、あゆ、かき(養殖)、とり貝(養殖)、くろまぐろ

南丹地域

【農畜産物】水稲、黒大豆、小豆、みずな、伏見とうがらし、ねぎ、えだまめ、かぶ、さといも、くり、和牛肉、生乳、豚肉、鶏卵

【林産物】木材、まつたけ、ほんしめじ

【水産物】あゆ

京のブランド産品 (31品目)

【京野菜 (21品目)】京みず菜、京壬生菜、九条ねぎ、京はたけ菜、花菜、京たけのこ、賀茂なす、伏見とうがらし、万願寺甘とう(万願寺とうがらし)、京山科なす、鹿ヶ谷かぼちゃ、京夏ずきん、紫ずきん、京こかぶ、堀川ごぼう、えびいも(こえびちゃん)、金時にんじん、やまのいも、聖護院かぶ、聖護院だいこん、くわい

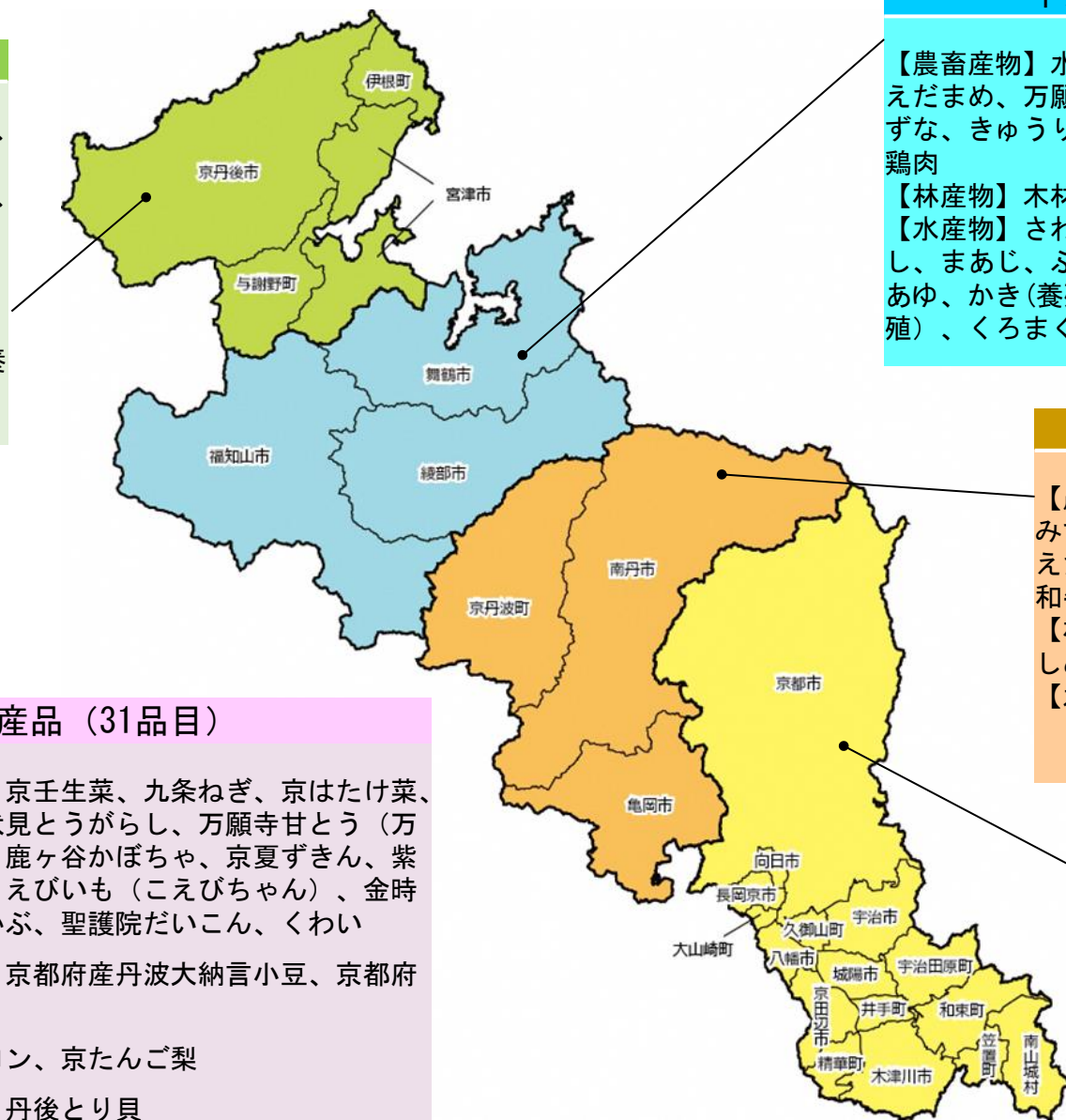
【粟、豆 (3品目)】丹波くり、京都府産丹波大納言小豆、京都府産黒大豆新丹波黒

【果実 (2品目)】京たんごメロン、京たんご梨

【水産物 (2品目)】丹後ぐじ、丹後とり貝

【加工品 (2品目)】京山科なす京漬物、京の酒

【酒米 (1品目)】祝



京都市・山城地域

【農畜産物】水稲、茶、ねぎ、なす、ほうれんそう、こまつな、しそ、トマト、いちご、伏見とうがらし、花菜、だいこん、にんじん、さといも、イチジク、かき、はなしょうぶ、カラー、こかぶ、蜂蜜

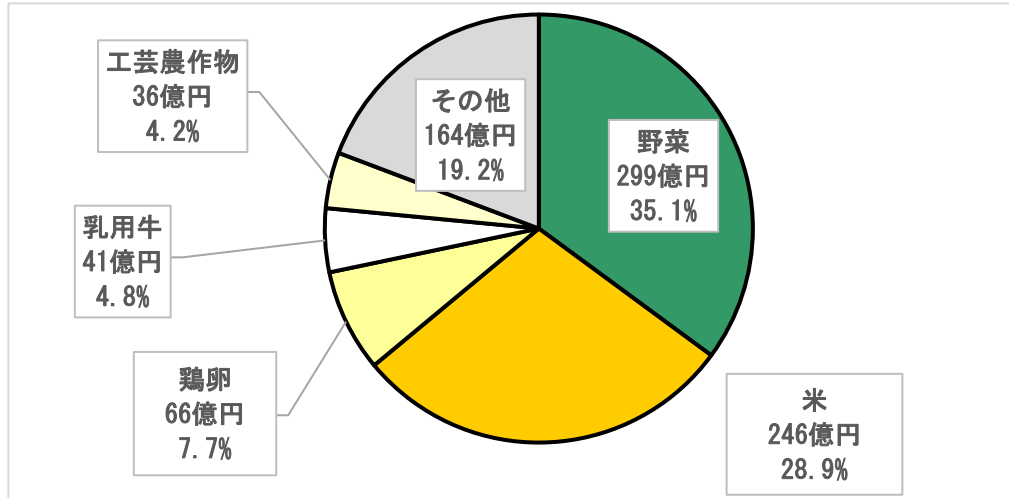
【林産物】北山杉、木材、竹材、しいたけ、たけのこ

【水産物】あゆ

京 都 府 の 農 業 (1)

- ・ 農業産出額は852億円で全国37位。うち米が246億円 (28.9%)、野菜が299億円 (35.1%)、畜産が156億円 (18.3%)。
- ・ 農畜産物の生産状況は、とうがらし (辛味種) が全国1位、小豆が2位、みずなが3位、茶 (生葉) (主産県)、茶 (荒茶) (主産県) が5位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区 分	年次	京 都 府	全 国	全国順位	
茶 (生葉) (主産県)	収穫量	R7	11,200 t	319,500 t	5
茶 (荒茶) (主産県)	生産量	R7	2,280 t	68,000 t	5
小豆	収穫量	R7	90 t	45,100 t	2
みずな	収穫量	R6	2,070 t	34,100 t	3
かぶ	収穫量	R6	2,940 t	94,300 t	7
こまつな	収穫量	R6	2,870 t	118,200 t	9
なす	収穫量	R6	5,950 t	280,200 t	11
イチジク	収穫量	R5	426 t	9,260 t	7
とうがらし (辛味種)	収穫量	R4	44 t	236 t	1 *
なばな (花)	収穫量	R4	118 t	3,830 t	6

出典: 「作物統計」、「特定作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「地域特産野菜生産状況」

農業産出額のデータ

区 分	京都府の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	852 億円 (100.0)	107,801 億円 (100.0)	37
米	246 億円 (28.9)	25,524 億円 (23.7)	33
麦類	0 億円	582 億円	22 *
雑穀	0 億円	87 億円	31
豆類	2 億円	621 億円	26
いも類	6 億円	2,565 億円	39
野菜	299 億円 (35.1)	25,510 億円 (23.7)	30
果実	24 億円 (2.8)	10,112 億円 (9.4)	44
花き	15 億円	3,423 億円	43
工芸農作物	36 億円	1,577 億円	7
その他作物	8 億円	583 億円	16 *
畜産	156 億円 (18.3)	36,654 億円 (34.0)	37
肉用牛	14 億円	7,861 億円	41
乳用牛	41 億円	10,035 億円	31
生乳	38 億円	8,937 億円	31
豚	13 億円	7,567 億円	40
鶏	87 億円	10,170 億円	30
鶏卵	66 億円	5,764 億円	25
ブロイラー	16 億円	4,259 億円	30 *
その他畜産物	1 億円	1,021 億円	27
加工農産物	61 億円	565 億円	4

出典: 「令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注: () は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和8年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」: 単位に満たないもの (例: 0.4t→0t)

「-」: 事実のないもの

「…」: 調査を欠くもの

「x」: 秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」: 秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

京 都 府 の 農 業 (2)

- ・耕地面積は2万9,000haで全国39位。うち田が2万2,600ha、畑が6,480ha。
- ・農業経営体数は1万1,422経営体で全国33位。うち法人経営体数が391経営体で37位。
- ・国、市町村認定及び都道府県認定経営体数は1,495経営体で全国38位。うち法人数が288法人で38位。
- ・農業生産関連事業は、農家民宿の年間販売(売上)金額が6,700万円 で全国18位、農業経営体数は20経営体で7位。

耕地面積

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
耕地面積	29,000 ha	4,272,000 ha	39
田	22,600 ha	2,319,000 ha	34
畑	6,480 ha	1,952,000 ha	38
普通畑	3,640 ha	1,118,000 ha	39
樹園地	2,780 ha	248,600 ha	28
牧草地	68 ha	585,900 ha	37
参考) 総土地面積	4,612.09 Km ²	377,979.74 Km ²	31

出典:「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和8年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
荒廃農地面積	608 ha	256,667 ha	44

出典:「令和6年度の荒廃農地面積(令和7年3月31日現在)」

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
農業経営体数	11,422 経営体	836,054 経営体	33
法人経営体数	391 経営体	33,819 経営体	37
総農家数	19,999 戸	1,394,135 戸	34
販売農家数	10,813 戸	792,808 戸	33
参考) 世帯総数	1,190,527 世帯	55,830,154 世帯	12
集落営農数	291 集落営農	13,952 集落営農	20

出典:「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和7年集落営農実態調査結果(令和7年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
担い手への集積面積	8,276 ha	2,627,068 ha	41
集積率	28.5 %	61.5 %	41

出典:「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	11,464 人	1,036,228 人	37
男	8,101 人	659,332 人	36
女	3,363 人	376,896 人	38
65歳以上	8,436 人	721,311 人	37
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	73.6 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	1,495 経営体	212,136 経営体	38
法人数	288 法人	29,684 法人	38
参考) 人口総数	2,578,087 人	126,146,099 人	13

出典:「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売(売上)金額及び事業体数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位	
農産加工	総額	7,742 百万円	1,006,107 百万円	35
	事業体数	500 事業体	26,910 事業体	24
農産物直売所	総額	14,526 百万円	1,134,381 百万円	39
	事業体数	340 事業体	20,960 事業体	26
観光農園	総額	345 百万円	39,113 百万円	30 *
	農業経営体数	50 経営体	4,350 経営体	26
農家民宿	総額	67 百万円	4,933 百万円	18 *
	農業経営体数	20 経営体	770 経営体	7
農家レストラン	総額	450 百万円	39,900 百万円	29 *
	事業体数	20 事業体	1,390 事業体	23

出典:「令和6年度6次産業化総合調査結果」

京 都 府 の 林 業

- ・ 林業産出額は26.7億円で全国36位。うち木材生産が17.0億円、栽培きのご類生産が8.5億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国29位、たけのこが全国3位、竹炭が6位。

林業産出額

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
林業産出額	26.7 億円	4,769.8 億円	36
木材生産	17.0 億円	2,369.4 億円	30
栽培きのご類生産	8.5 億円	2,322.7 億円	33

出典：「令和6年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
素材生産量	164 千m ³	19,763 千m ³	29
針葉樹	159 千m ³	18,398 千m ³	29
すぎ	126 千m ³	11,716 千m ³	25
ひのき	32 千m ³	3,019 千m ³	26
広葉樹	5 千m ³	1,365 千m ³	29
竹炭	生産量 5 t	642 t	6 *
たけのこ	生産量 2,047 t	20,865 t	3
木酢液等	生産量 610 l	1,535,689 l	16 *
薪	生産量 2,136 層積m ³	99,161 層積m ³	12

出典：「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
林野面積	342,149 ha	24,744,214 ha	27
国有林	6,989 ha	7,117,059 ha	44
民有林	335,160 ha	17,627,155 ha	23
人工林面積	135,684 ha	10,059,386 ha	33

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
製材工場数	46 工場	3,547 工場	37
製材用素材の入荷があった工場数	46 工場	3,492 工場	36
国産材のみ	35 工場	3,013 工場	37
国産材と輸入材	11 工場	386 工場	11

出典：「令和6年木材統計」

林業経営体数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
林業経営体数	408 経営体	23,300 経営体	18
法人経営体数	101 経営体	3,813 経営体	12

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

京 都 府 の 水 産 の 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は61億円で全国36位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のさわら類が全国1位、にぎす類が5位、海面養殖業のかき類が14位、わかめ類が18位。
- ・ 漁業生産関連事業は、漁家民宿の年間販売（売上）金額が3億円で全国5位、漁業経営体数は20経営体で8位。

漁業産出額

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	61 億円	14,785 億円	36
海 面 漁 業	41 億円	8,894 億円	33 *
海 面 養 殖 業	20 億円	5,891 億円	26 *

出典：「令和6年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	545 経営体	65,662 経営体	31
内水面漁業経営体数	10 経営体	4,076 経営体	45

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	773 人	121,389 人	37
男	750 人	109,757 人	37
女	23 人	11,632 人	35

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
漁船隻数	836 隻	109,284 隻	31
動力漁船	353 隻	58,907 隻	34

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	10,280 t	3,589,121 t	35 *
海面漁業漁獲量	9,309 t	2,786,195 t	35
さわら類	1,011 t	9,557 t	1
にぎす類	117 t	1,776 t	5 *
海面養殖業収穫量	971 t	802,927 t	27 *
かき類	249 t	148,149 t	14
わかめ類	38 t	39,658 t	18 *
内水面漁業・養殖業生産量	12 t	47,046 t	38 *
内水面漁業漁獲量	7 t	17,915 t	32
あゆ	6 t	1,414 t	19
内水面養殖業収穫量	5 t	29,131 t	44
にじます	4 t	5,202 t	32

出典：「令和6年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位	
水産加工	総額	1,741 百万円	193,147 百万円	20
	事業体数	10 事業体	1,160 事業体	24
水産物直売所	総額	95 百万円	34,259 百万円	33 *
	事業体数	10 事業体	780 事業体	18
漁家民宿	総額	302 百万円	5,440 百万円	5 *
	漁業経営体数	20 経営体	540 経営体	8
漁家レストラン	総額	66 百万円	13,511 百万円	27 *
	事業体数	0 事業体	380 事業体	30

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

京都府の農林水産業の話題等（1）

「京都府農林水産業人材確保育成戦略」に基づく取組の始動

京都府では、令和7年3月策定の「京都府農林水産業人材確保育成戦略」に基づき、令和7年度から産学公民連携による新たな推進体制づくりと分野横断の取組を進めています。

(1) 産学公民連携による新たな推進体制づくり

産学公民が連携して農林水産業の人材確保・育成に取り組む「京都府農林水産業人材確保・育成ネットワーク」を設立し、キックオフイベントを開催しました。日新電機株式会社・小畑顧問の講演や、農林水産業、大学、企業、民間研究機関の専門家によるパネルディスカッションを行い、活発な議論が交わされました。

(2) 分野横断の取組

○ 高校生・大学生が2泊3日で農・林・水の仕事を体験

7月30日（水）～8月1日（金）には、農業・林業・漁業を体験する分野横断インターンシップを実施し、高校生・大学生5名が参加。茶園見学や農業機械試乗、搾乳・給餌、伐倒見学、定置網漁業の見学など幅広く体験しました。参加者からは「現場の魅力がよく分かった」などの声があり、理解促進に大きく寄与しました。

○ 農林水学びの横断研修を初開催

経営力・コミュニケーション力の向上と分野横断の人脈形成に向け、府研修教育機関（農業大学校・林業大学校・宇治茶実践型学舎・畜産人材研修制度）の学生や研修生など29名を一同に集めた横断研修を初めて開催しました。研修では、異なる分野の研修を受ける学生らが交流し、一次産業の魅力を語り合うグループワークや、経営の専門家によるマーケティングや経営ノウハウに係る講義を実施しました。参加した学生からは「経営する上での心構えや大事なことを教えてもらった。就業後に生かしていきたい」などの声が聞かれ、普段の学びを深める機会になりました。



キックオフイベントの交流会



パネルディスカッション



分野横断インターンシップの様子

「京都府豊かな森を育てる府民税」の課税期間の延長〈第3期に向けて〉

京都府では、森林の多面的機能の維持・増進を図り、府民生活の安心・安全を確保することを目的として、「京都府豊かな森を育てる府民税」を平成28年度に導入し、「森林の整備及び保全」、「森林資源の循環利用」、「森林の多様な重要性について府民理解の促進」に活用してきたところです。

このたび、京都府豊かな森を育てる府民税の課税期間を5年間延長し、第3期（令和8年度～12年度）の取組をスタートすることになりました。

第3期では、第2期に引き続き、持続可能な森林づくりに向けた施策を展開することとしており、その中でも、防災対策の強化と木材利用の拡大に重点的に取り組みたいと考えております。

【第3期の強化ポイント】

- ・防災対策の強化：これまで対象としてきた保安林に限らず、全ての森林を対象に、府民提案による公共性の高い施設や道路周辺等での危険木対策を実施します。
- ・木材利用の拡大：これまでの住宅等の民間建築物への支援に加え、戦略的に木材の魅力を発信するため、多くの府民が利用するPR効果の高いランドマークとなる公共施設の木造・木質化を実施します。



府民が利用する施設への木製品導入への支援

京都府の農林水産業の話題等（2）

「第77回関西茶業振興大会京都府大会」の開催

関西地区で生産される茶の特徴を明らかにし、生産技術や品質向上を図るとともに、茶の国内需要の増進、関西茶業の振興、引いては日本茶業の発展に寄与することを目的に第77回関西茶業振興大会京都府大会を開催しました。

京都府での開催は6年ぶりで、8月6日(水)～8月8日(金)に行われた出品茶審査会では、「普通煎茶」、「かぶせ茶」、「玉露」、「てん茶」の各部で京都府産茶が農林水産大臣賞を受賞したほか、市町村ごとに与えられる産地賞においても相楽郡南山城村、綾部市、京田辺市、宇治市が受賞するなど好成績をおさめました。

また、11月15日(土)には、大会式典に併せて、「関西お茶まつり」を開催し、出品茶入賞茶の飲み比べや、石臼挽き&合組体験などのワークショップに加え、お茶関連商品や特産物の販売などを実施し、参加者からは「高品質な入賞茶を味わうことができた」などの声もあり、茶の持つ魅力をPRできました。

今後も、生産者や関係機関と連携し、京都府産茶の需要拡大を図ってまいります。



式典にて産地賞受賞市町村を表彰

「持続可能な京都の海の活用に関するプラン」の策定

京都府では、長年受け継がれてきた水産業を未来につなぎ、海の恵みを持続的に活かしていくため、目指す姿を示した「持続可能な京都の海の活用に関するプラン」を令和8年3月に策定しました。

本プランでは、3つのパートにより、今後の水産業および海の活用に関する研究・施策の方向性を整理しています。

① 海洋環境の変化に対応した資源保護と海洋環境保全

デジタル技術の活用や計画的な漁獲、藻場づくり、ブルーシーフードの普及を通じて、海の環境を守りながら、水産業と安定した漁業者の収入確保を目指します。

② 生産性向上・高付加価値化による水産業の成長産業化

府海洋センターの機能強化や舞鶴市場の高度衛生化、京都産水産物のブランド力向上、人材育成を一体的に進めることで、稼げる・持続的な水産業を目指します。

③ 地域資源を活用した産業の創出による漁村の活性化

海の眺望を活かした漁港めしや漁業体験などの海業の推進により漁村文化を支えるとともに、海洋データを活用する多様な企業が交流・連携する場を設置し、新たな産業づくりに取り組みます。

今後5年間で水産業や観光業、研究、行政の関係者が一体となって取組を推進し、海の活用を軸とした京都府北部地域の活性化を図ります。



試料の分析をする海洋センター職員